

第 2 四半期決算説明資料 (2 0 1 2 年 度)

2 0 1 2 年 1 2 月 7 日



2012年度 第2四半期 決算概要

2012年度 第2四半期累計期間の総括

- 当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災や原子力災害の復興・復旧需要等を背景に、景気は緩やかな持ち直しの動きが見られるようになってきたものの、中国など新興国の経済減速や長引く欧州債務問題、円高等もあり、先行きも不透明感を払拭できない状況となっております。
- このような事業環境の中、前事業年度に急増した原子力発電所向け呼吸用保護具に対する受注の大幅減少を主因として、当第2四半期累計期間の売上高は、前第2四半期累計期間比 39.8%減の 39 億 6 百万円となりました。
- 一方、利益面では、受注の大幅減少に対応して、船引・埼玉両事業所ともに通常の生産体制へのスムーズな移行により、生産効率の維持に注力しました。この結果、製品原価率は、通常年並みの水準を維持しましたが、前第2四半期累計期間比では、売上高の大幅減少による影響もあり 16 ポイント以上悪化し、売上総利益は前第2四半期累計期間比 56.7%減の 12 億 80 百万円となりました。
- また、販売費及び一般管理費については、期初から諸経費の削減に注力したものの、一方で、積極的な新製品拡販活動の推進に伴う人件費・諸経費の増加等もあり、前第2四半期累計期間比では 9.2%減に止まる 12 億 53 百万円となりました。
- 以上の結果、営業利益 28 百万円（前第2四半期累計期間比 98.3%減）、経常利益 18 百万円（前第2四半期累計期間比 98.9%減）、四半期純利益は 10 百万円（前第2四半期累計期間比 99.3%減）の減益決算となりました。

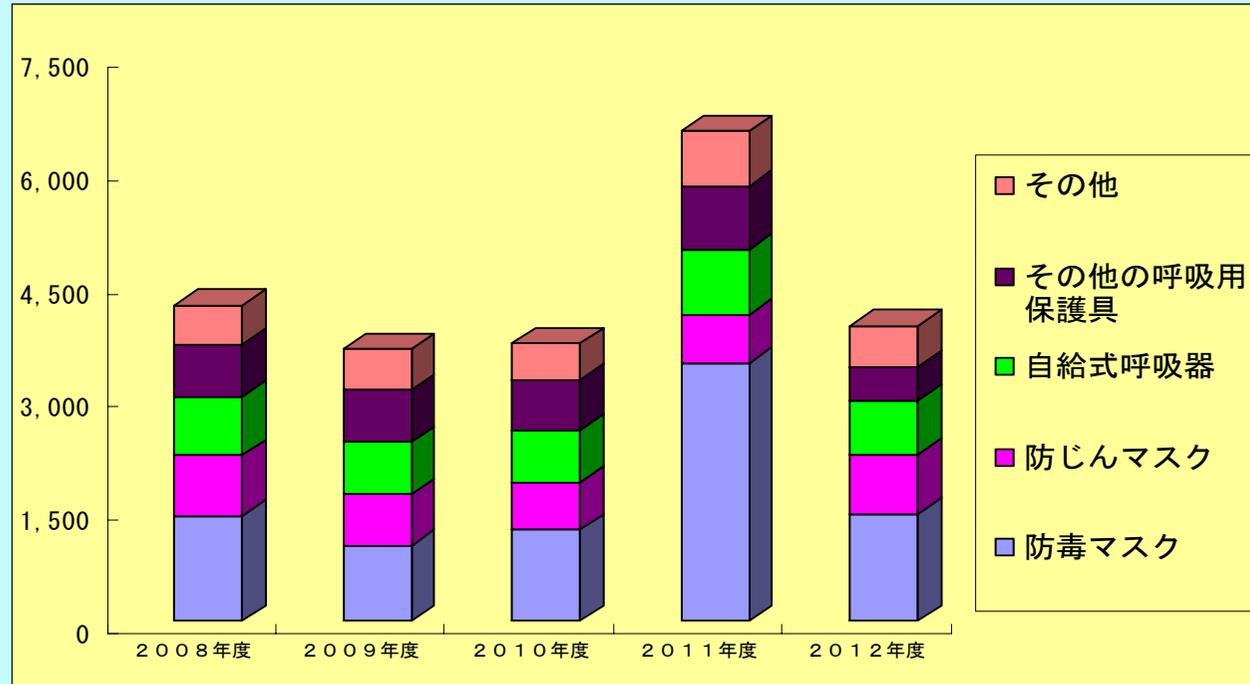
2012年度第2四半期累計期間 損益の状況

(単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入)

	11年度第2四半期	12年度第2四半期	前年同期間比増減	備 考
売 上 高	6,489.1	3,905.6	△ 2,583.5	前事業年度に急増した原子力発電所向け製品の受注が大きく減少したこともあり、売上高は、前年同期間比25億83百万円減の39億6百万円となりました。
製品製造原価	2,515.4	1,820.2	△695.2	製造部門は、通常の生産体制に戻ったため、製品製造原価は、前年同期間比6億95百万円減少しましたが、売上高の減収が製品製造原価の減少分より大きかったため、売上総利益は前年同期間比で16億76百万円減の12億80百万円となりました。
商品原価	1,017.9	805.3	△212.6	
売上原価	3,533.3	2,625.5	△907.8	
売上総利益	2,955.8	1,280.1	△1,675.7	
販売費及び一般管理費	1,379.5	1,252.6	△126.9	販売費及び一般管理費は、前年同期間比で1億27百万円の減少に止まったため、営業利益は28百万円となりました。
営業利益	1,576.3	27.5	△1,548.8	
営業外収益	32.1	30.4	△1.7	支払利息の減少等により、営業外収益と営業外費用の差額が前年同期間比18百万円縮小の10百万円となり、経常利益は18百万円となりました。
営業外損失	60.7	40.4	△20.3	
経常利益	1,547.7	17.5	△1,530.2	
特別利益	1,089.4	0	△1,089.5	当第2四半期累計期間の特別利益、特別損失は、いずれも通常年の水準に戻っており、税引前四半期純利益は14百万円となりました。
特別損失	167.0	3.3	△163.7	
税引前四半期純利益	2,470.3	14.2	△2,456.1	
法人税、住民税及び事業税	727.3	3.1	△724.2	以上の結果、税負担後の四半期純利益は、10百万円となりました。
法人税等調整額	254.5	1.4	△253.1	
四半期純利益	1,488.5	9.7	△1,478.8	

第2四半期累計期間のセグメント別売上高推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

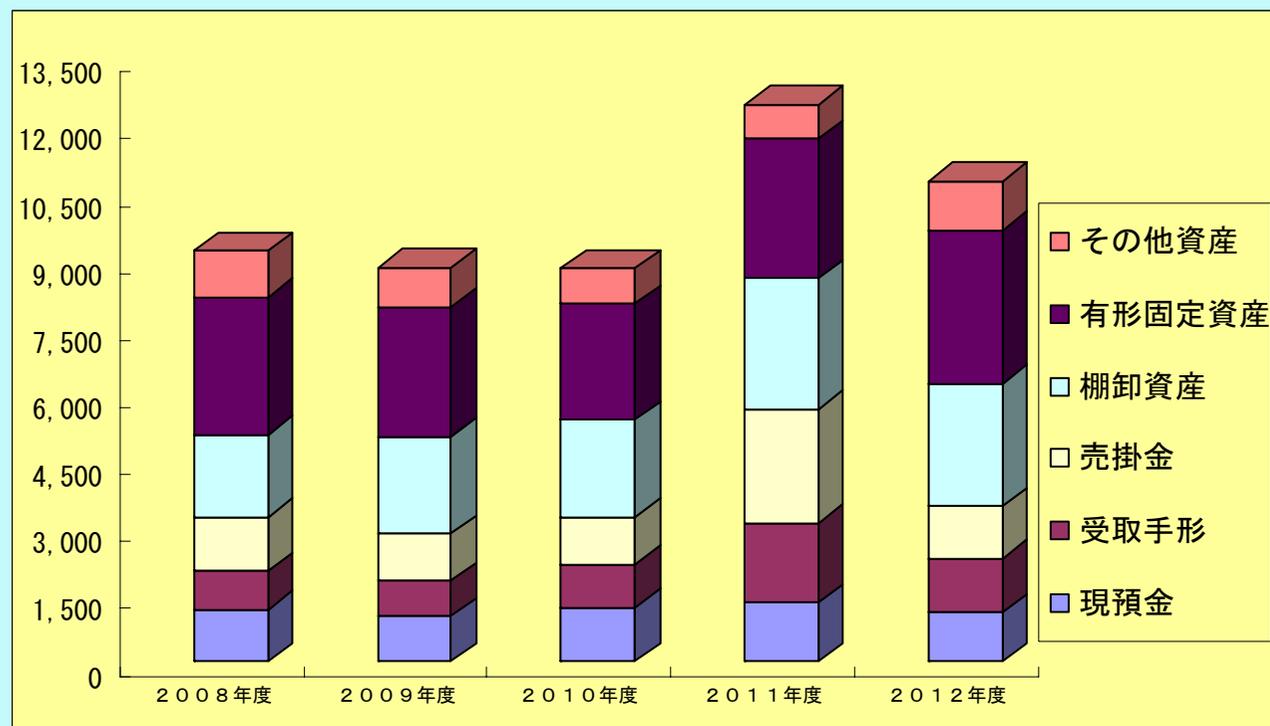
当第2四半期累計期間の特徴

- ① 当第2四半期累計期間の売上高は、前事業年度に急増した原子力発電所向け製品受注の大幅減少等により、前年同期比で25億83百万円の大幅な減収となりました。
- ② 防毒マスクは、原子力発電所向け受注が大幅に減少したことから、前年同期比で20億3百万円、率にして58.5%の大幅減少となりました。
- ③ 防じんマスクは、新製品を含む積極的な拡販活動および原子力発電所向け受注等により、前年同期比で1億44百万円の増加となりました。一方、自給式呼吸器、その他の呼吸用保護具等の合計は、前事業年度の震災復興関連需要の反動もあり、前年同期比で7億円以上の減少となりました。

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
防毒マスク	1,394.9	992.3	1,211.2	3,425.0	1,421.4
防じんマスク	799.3	686.1	618.3	640.3	784.5
自給式呼吸器	778.2	689.7	704.1	852.6	719.1
その他の呼吸用保護具	694.1	688.7	657.9	845.9	450.7
その他	512.0	544.8	485.6	725.3	529.9
合計	4,178.5	3,601.6	3,677.0	6,489.1	3,905.6

第2四半期末の主要資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
現預金	1,163.3	1,013.2	1,213.9	1,330.8	1,113.7
受取手形	867.9	796.6	968.5	1,763.2	1,198.5
売掛金	1,207.9	1,056.7	1,044.5	2,554.3	1,154.6
棚卸資産	1,834.2	2,176.9	2,186.8	2,927.5	2,759.6
有形固定資産	3,080.0	2,898.6	2,584.1	3,110.5	3,413.3
其他資産	1,034.6	883.7	800.0	768.1	1,106.0
合計	9,187.9	8,825.7	8,797.8	12,454.5	10,745.8

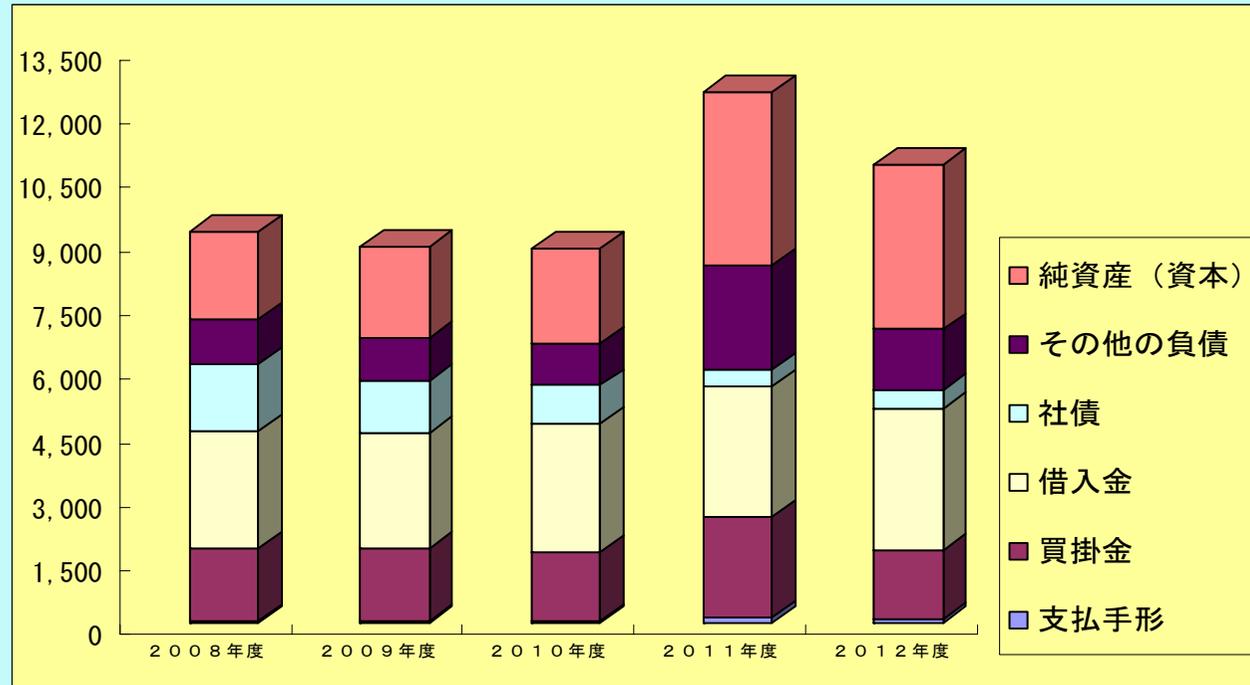
注：本表における受取手形には、手持受取手形その他、債権売却未収入金の受取手形を含んでいます。債権売却手形(資金化分)は、簿外のため含まれていません。

当第2四半期末の特徴

- ① 現預金の残高は、前第2四半期末比では2億円減少していますが、これは通常の変動範囲内のものであります。
- ② 売上債権(受取手形+売掛金)は、売上高の大幅な減収を反映して、前第2四半期末比で19億64百万円の減少となりました。
- ③ 棚卸資産は、前第2四半期末比で減少していますが、前期末比では1億円増加しています。これは、第3四半期以降の売上に備えたものです。
- ④ 当第2四半期累計期間では、埼玉事業所新工場の第一期工事分の完成等により、有形固定資産は増加しております。
- ⑤ その他資産については、繰延税金資産、長期性預金、ソフトウェア等の増加により、全体として増加しています。

第2四半期末の主要負債・純資産状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

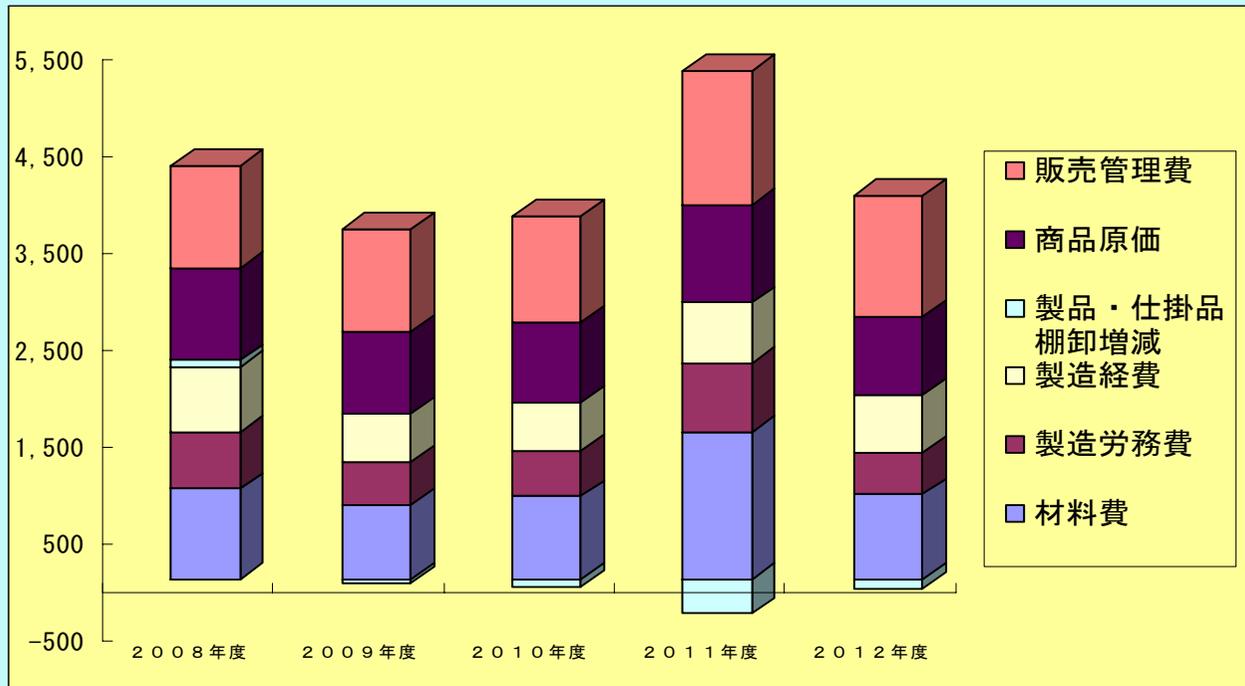
	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
支払手形	37.6	23.0	38.3	138.5	83.4
買掛金	1,696.8	1,717.5	1,622.8	2,341.8	1,601.5
借入金	2,752.7	2,711.7	2,998.2	3,050.6	3,346.8
社債	1,576.6	1,242.8	909.0	415.2	423.9
その他の負債	1,074.8	975.6	986.5	2,455.4	1,426.5
純資産（資本）	2,049.5	2,155.1	2,243.0	4,053.0	3,863.6
合計	9,187.9	8,825.7	8,797.8	12,454.5	10,745.8

当第2四半期末の特徴

- ① 売上高の大幅減収に伴い、支払債務（支払手形＋買掛金）も大幅に減少し、通常年の水準に戻っております。
- ② 借入金及び社債の合計残高は、長期金利の低下を踏まえ、当事業年度後半に予定していた長期借入を前倒しで借り入れたこともあり、前第2四半期末比及び前期末比ともに増加しております。
- ③ 当第2四半期累計期間は、総資産の減少額が純資産（資本）の減少額を上回ったため、自己資本比率は36.0%となり、前第2四半期末比及び前事業年度末比ともに改善しました。

第2四半期累計期間の売上原価・販売管理費状況推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
材料費	940.0	779.4	861.6	1,525.1	883.6
製造労務費	582.2	433.1	471.4	718.8	430.5
製造経費	682.3	500.7	505.5	622.7	603.7
製品仕掛品棚卸調整	64.0	△ 33.4	△ 75.1	△ 351.2	△ 97.5
商品原価	947.3	848.1	819.7	1,017.9	805.3
販売管理費	1,070.6	1,057.9	1,097.6	1,379.5	1,252.6
合計	4,286.3	3,586.0	3,680.7	4,912.8	3,878.1

当第2四半期累計期間の特徴

- ① 材料費は、前年同期間比で6億41百万円の減少となりましたが、製品売上に占める比率は、前年同期間の29.3%から、当第2四半期累計期間は31.8%に2.5ポイント悪化しました。

製造労務費は、前事業年度に投入した期間社員を削減したこと等により、前年同期間比で2億88百万円の減少となりました。

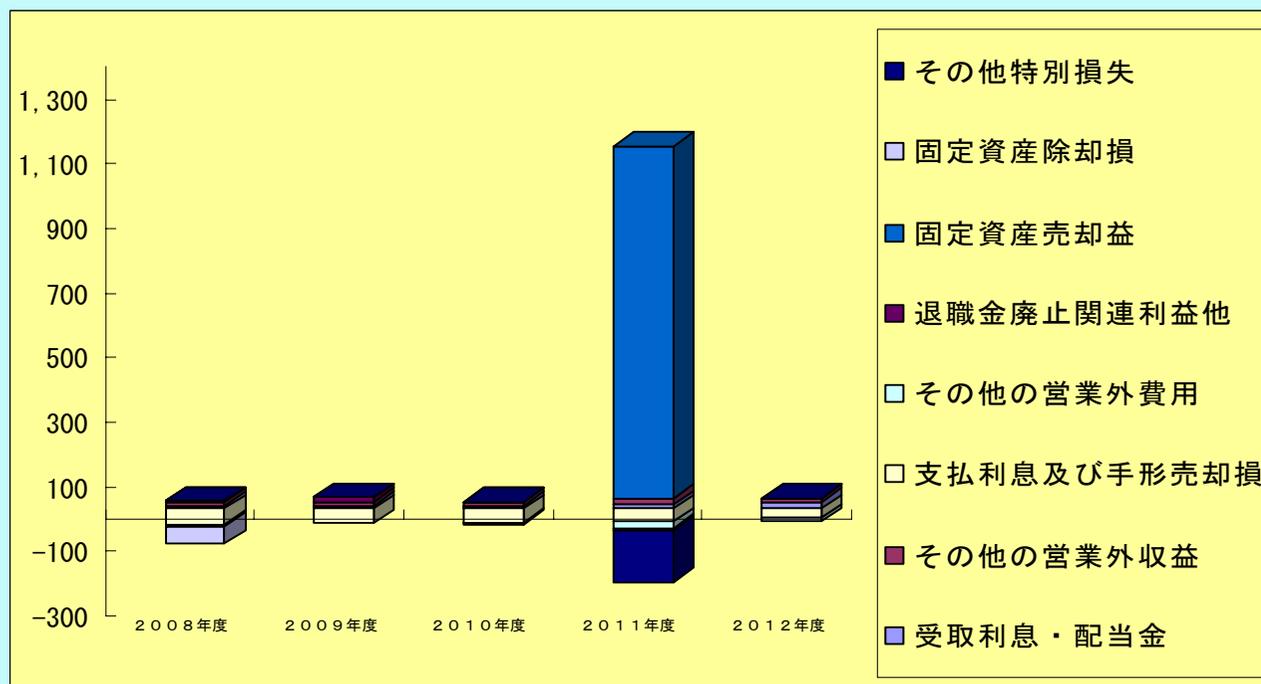
製造経費は、諸経費削減に注力しましたが、埼玉事業所新工場の第一期工事分の稼働に伴う経費増等もあり、前年同期間比で19百万円の減少に止まりました。

- ② 商品原価については、引き続き効率的な商品仕入に注力したことから、商品売上高に対する原価率は72.1%と、前年同期間比で6%以上改善しています。

- ③ 販売費及び一般管理費については、積極的な新製品拡販活動の推進等もあり、前年同期間比では1億26百万円の減少に止まりました。

第2四半期累計期間の営業外・特別損益推移

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	
営業外損益	受取利息・配当金	8.1	9.7	8.3	11.5	18.3
	その他の営業外収益	13.3	10.8	12.1	20.6	12.0
	支払利息及び手形売却損	△ 48.1	△ 46.1	△ 42.4	△ 39.9	△ 28.6
	その他の営業外費用	△ 5.4	△ 4.2	△ 5.0	△ 20.8	△ 11.8
	営業外損益合計	△ 32.0	△ 29.9	△ 26.9	△ 28.6	△ 10.0
特別損益	役員退職金廃止関連利益他	0.3	14.5	0.7	0.0	0.0
	固定資産売却益	0.0	0.0	0.0	1,089.5	0.0
	固定資産除却損等	△ 56.1	△ 1.8	△ 0.2	△ 5.4	△ 3.3
	その他特別損失	0.0	0.0	0.0	△ 161.6	0.0
	特別損益合計	△ 55.8	12.7	0.5	922.5	△ 3.3

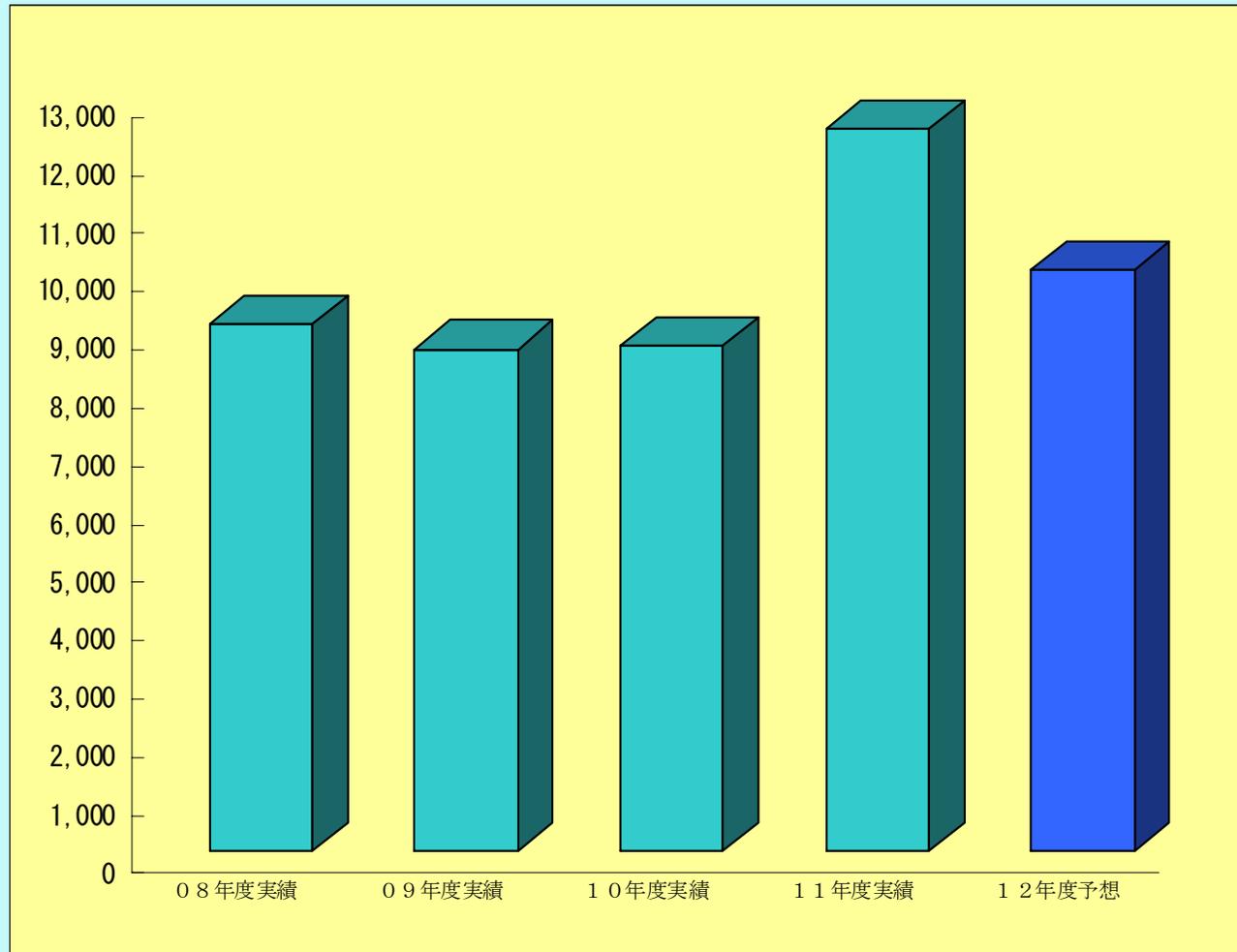
当第2四半期累計期間の特徴

- ① 営業外収益は、保有株式の受取配当金は増加しましたが、その他の営業外収益が減少したため、全体では前年同期間比で微減となりました。
- ② 借入金利率の低下もあり、支払利息及び手形売却損の合計は、前年同期間比で11百万円減少しました。また、その他の営業外費用も9百万円減少したことから、営業外費用合計は前年同期間比で20百万円減少しました。
- ③ 前年同期間に計上した旧東京事業所の売却益がないため、特別利益は、前年同期間比で大きく減少し、通常年の水準に戻りました。
- ④ 前年同期間に計上した震災被害の復旧費用及び本社移転費用等がないため、特別損失も前年同期間比で大きく減少し、通常年の水準に戻りました。

2012年度 通期業績予想

2012年度 通期の売上高予想

(単位：百万円)



単位：百万円、小数点未満四捨五入

	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度予想
通 期	9,072.8	8,643.0	8,695.7	12,419.0	10,000.0

状 況 と 見 通 し

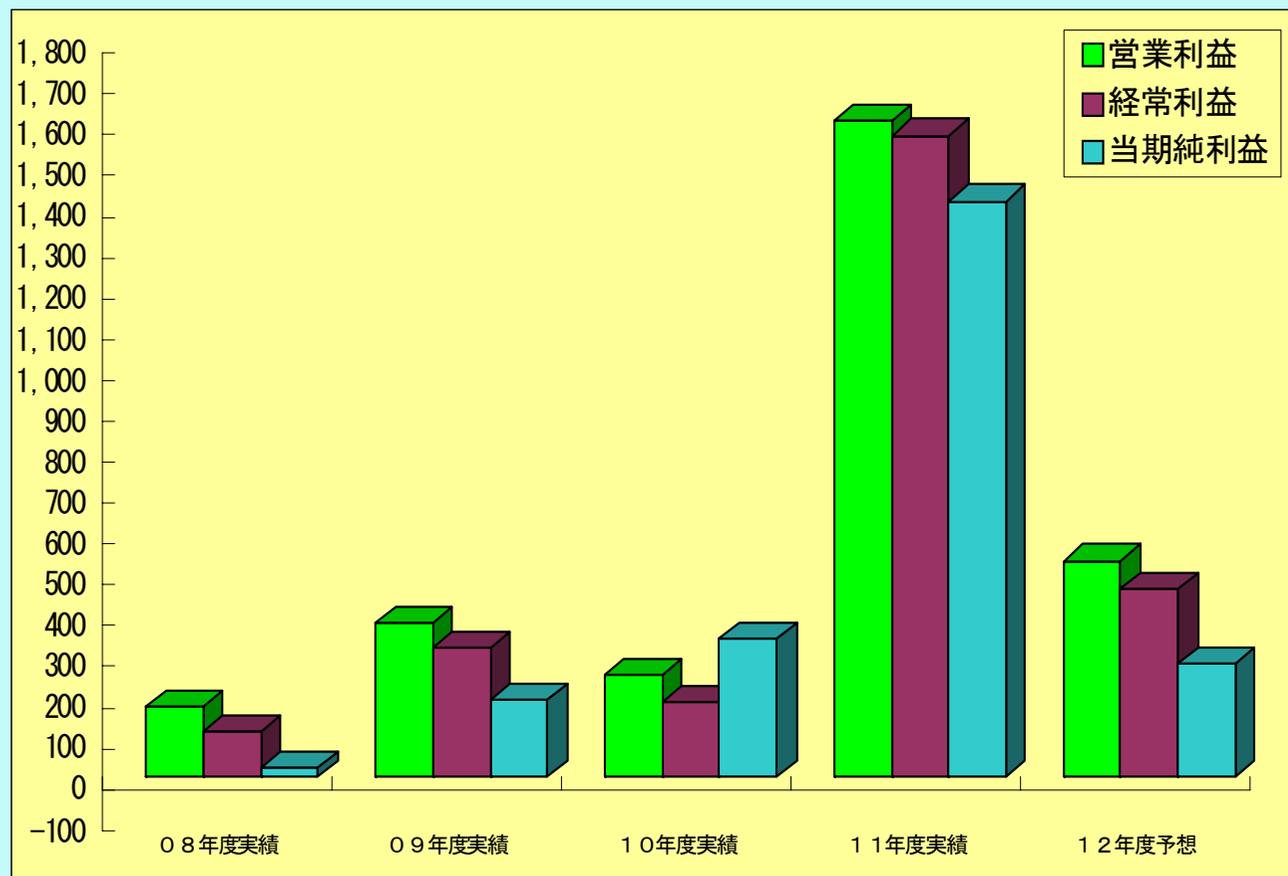
当第2四半期累計期間の売上高は、本年5月に公表した業績予想に比し、約5億円の未達となりましたが、通期の当初予想100億円の達成は、今後の動向如何と考えられます。

通期の業績予想につきましては、震災復興需要の見通しや景気の先行きが不透明さを拭えない状況であり、当社を取り巻く事業環境を予測することが困難であるため、本年5月に公表した100億円にて、業績の推移を今しばらく見極めたいと考えております。

今後、状況に変化があると予想された場合は、遅滞なく業績予想の修正を行ってまいります。

2012年度 通期の利益予想

(単位：百万円)



状況と見通し

当社における年間売上高の構成は、通常年である10年度実績で、上半期36.8億円、下半期50.2億円となっていることからわかるとおり、恒常的に下半期、特に第4四半期に偏重しております。

当第2四半期累計期間における利益実績は、研究開発力の強化及び新製品拡販活動の推進等による費用先行もあり、本年5月公表の利益予想を下回りましたが、引き続き、第3四半期以降も製・商品ともに積極的な拡販活動に注力してまいります。

以上のことから、現時点では5月公表の当初予想は修正せず、通期では営業利益5億30百万円、経常利益4億60百万円、当期純利益2億80百万円を見込んでおります。

単位：百万円、小数点以下第2位四捨五入

	08年度実績	09年度実績	10年度実績	11年度実績	12年度予想
営業利益	172.8	376.5	250.7	1,603.1	530.0
経常利益	109.7	316.6	184.8	1,569.7	460.0
当期利益	22.3	190.1	339.7	1,408.4	280.0